

P板.com 標準回路シンボル大公開！

P板.com が作成した D2CAD 用の回路シンボル約 400 点を公開します。無料でダウンロードして頂き、ご自由にお使い頂けます。D2CAD をご利用でないお客様も、この機会にぜひお試し下さい。

D2CAD のご紹介 : <http://www.yansoft.com/d2cad/>

--- INDEX ---

1. 公開するシンボルライブラリーの詳細
2. ピン番号基準
3. D2CAD でのご利用方法

1. 公開するシンボルライブラリーの詳細

ライブラリ名	ファイル名	格納されている部品
一般デバイス (1~3 端子部品)	<u>lppanDevice.lib</u>	抵抗、可変抵抗、ジャンパー、コンデンサ、可変コンデンサ、ダイオード、ツェナーダイオード、発光ダイオード、ブザー、マイク、ヒューズ、スピーカー、コイル、スイッチ、水晶振動子、アレスタ、バリスタ、サーミスタ、トランジスタ、電界効果トランジスタ、サイリスタ、バッテリー、レギュレータ、シャントレギュレータ、フィルタ、etc
74 シリーズ	<u>74Family.lib</u>	74 シリーズ、7S シリーズ、7W シリーズ、
リニア IC	<u>LinearIc.lib</u>	オペアンプ、コンパレータ
その他	<u>Etc.lib</u>	リレー、ジャック、トランス、フォトカプラ、etc
スイッチ	<u>Switche.lib</u>	スイッチ
コネクタ	<u>Cn.lib</u>	1~100 端子
電源とグランド	<u>Power-Gnd.lib</u>	+5V、+12V、GND、テストピン etc

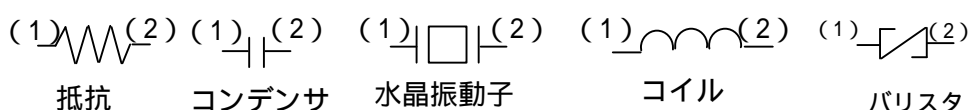
2. ピン番号基準

2-1 無極性 2 端子部品の場合

*ピン番号は 1、2 とし、表示はしません。

*コンデンサ、抵抗、ジャンパー、コイル、水晶振動子、ヒューズ、アレスタバリスタ、サーミスタ等が対象となります。

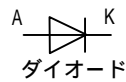
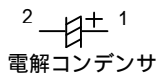
例)



2-2 有極性2端子部品の場合

- *ピン番号はプラスが1番、マイナスは2番ピンとし、表示します。
- *電解コンデンサ、タンタルコンデンサ、可変コンデンサ、スピーカー、マイク、ブザー、バッテリー - が対象となります。
- *ダイオードの場合はA(アノード)、K(カソード)とします。

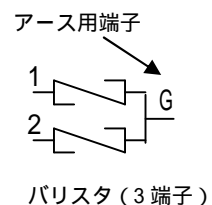
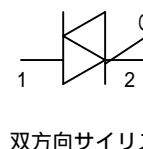
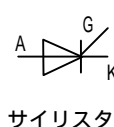
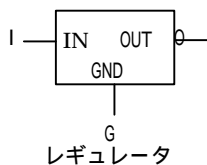
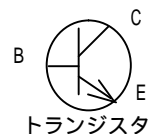
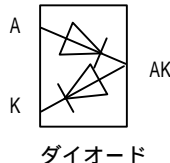
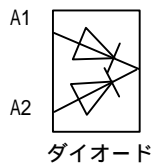
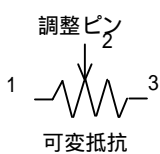
部品名	ピン番号
コンデンサ、スピーカー、マイク、ブザー、バッテリー、可変コンデンサ	1(+), 2(-)
ダイオード	A(アノード), K(カソード)



2-3 有極性3端子部品のピン番号基準

- *ダイオード、トランジスタ、電界効果トランジスタ、バリスタ、サイリスタ、レギュレータ、シャントレギュレータが対象となります。
- *可変抵抗は調整ピンを2、固定ピンを1,3とし表示します。
- *ピン番号は下記表の通りです。
- *ピン番号の表示されていないアース用端子が1ピンの時はG、複数ピンの時はG1, G2とします。(バリスタ等)

部品名	ピン番号
可変抵抗	1、2(調整ピン)、3
ダイオード	A、A1、A2、AK、K、K1、K2、NC
トランジスタ	E、B、C
電界効果トランジスタ	G、D、S
サイリスタ	A、K、G
シャントレギュレータ	A、K、R
3端子レギュレータ、3端子(リセット)IC	I、G、O

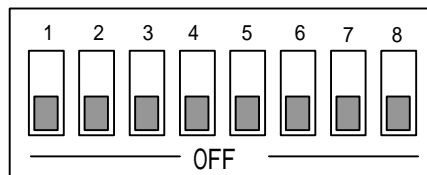
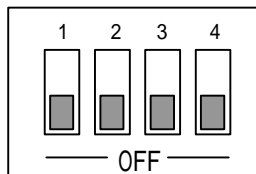
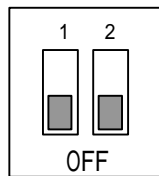
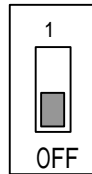


2-4 スイッチのピン番号基準

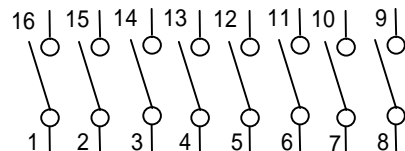
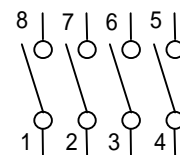
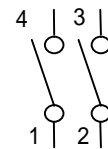
ディップスイッチ

通常使用される ON、OFF 切り替えが主なディップスイッチのピン番号は基本的に IC のピン番号と同じ反時計方向で割り付けます。但し、その他のデバイスが付属（内臓）されている場合はカタログと同じとします。

例) カタログ



標準規格

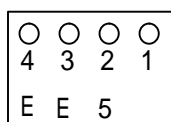
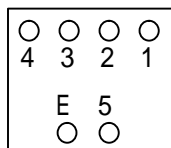
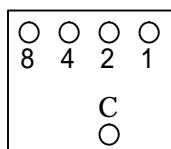


ロータリースイッチ

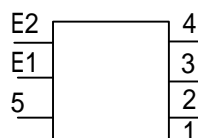
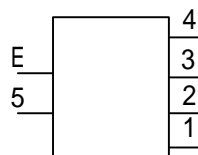
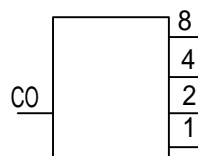
ピンの機能を「コードとダイレクト」で表現する事が多い為、基本的にはカタログ通りとします。ピン番号は 1,2,4,8,...、1,2,3,4,...とし、コモンピンは 1 ピンの時は C0 (シーオー)

複数ピンの時は C01,C02,...、アースピンも同様に E,E1,E2,...とします。

カタログ



標準規格

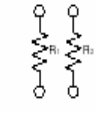
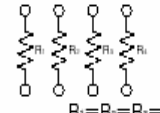
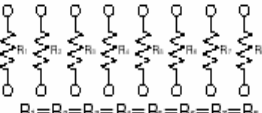


2-5 集合抵抗のピン番号基準

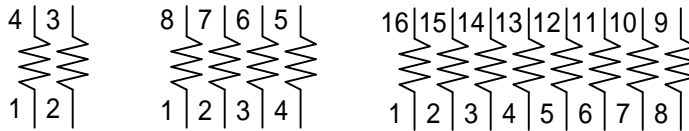
*基本的にはカタログの通りとしますが、カタログにピン番号の明記されていない場合は IC のピン番号と同じ反時計方向で割り付けます。

カタログ

■回路構成 Circuit Construction

CN1J2 CN2A2 CN2B2	CN1J4 CN2A4 CN2B4	CN1J8 CN2A8 CN2B8
		
$R_1 = R_2$	$R_1 = R_2 = R_3 = R_4$	$R_1 = R_2 = R_3 = R_4 = R_5 = R_6 = R_7 = R_8$

標準規格

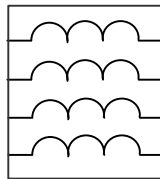


2-6 他回路部品のピン番号基準

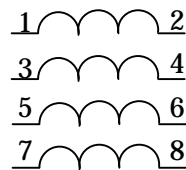
*2-1～2-5 以外の回路部品に関しては、基本的にはカタログの通りとします。

*カタログにピン番号の明記されていない無極性複数素子部品は、素子毎に割り付けます。

例) カタログ

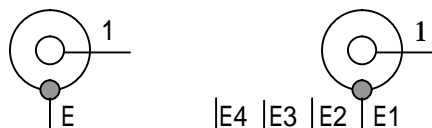


標準規格



*ジャックや、コネクタ等、ピン以外でアース (GND) に接続する必要がある場合には、ピンと同じ扱いとし、ピン番号の表示されていないアース用端子が 1 ピンの時は E、複数ピンの時は E1, E2... とします。

例) ジャック



* + や - 等の記号は、ピン番号に使用されない様をお願い致します。

3 . D2CAD でのご利用方法

3-1 D2CAD への取り込み方法

1. D2CAD を起動する
2. ツールバーの「ツール」 「環境設定」を選択
3. 環境設定ダイアログの「部品ファイル」タブを選択
4. 「追加」を選択
5. 場所とファイル (74Family.lib など)を選択し「開く」をクリック
…これでライブラリが D2CAD に登録されました

3-2 回路図ファイル (*.dcd)からライブラリを読む

1. 回路図ファイル (*.dcd)を開く
2. 「右クリック」 「部品」を選択し、回路図データの黒い部分で左クリック
3. 部品入力ダイアログから「ライブラリ」を選択
4. 部品一覧から「74Family.lib」をダブルクリック
5. 呼び出したいシンボルを選択
6. 「OK」すると回路図に配置されます

4 .ご注意

- ・ 標準部品ライブラリに無い回路部品 (シンボル)は、お客様にて作成をお願いいたします。
- ・ 本ライブラリは P 板.com 専用の標準部品ライブラリです。ライブラリ内のシンボルに対しては、変更や修正を行わないで下さい。

以上